

(別記様式3)

北勢中央公園事業計画書の要旨

申請者名	株式会社 名阪造園
公園管理の方針	○テーマ：「NEXT HOKUCHU」・公園の楽しさと使いやすさ、次のステージへ ○総合方針：7つのS Safty：安心・安全な公園管理運営と利用のアイデア提供 Sports：快適で使いやすい運動施設の維持管理 Support：地域と連携した相互支援による公園の管理運営 Specialty：世代・性別・地域を超えた生涯学習の機会と場の提供 SNS：ポストコロナ時代に即した新しい公園利用の提案と発信 SDGs：循環型公園管理運営のモデルの構築と実践 Satoyama：里山の生態系を活かした、北勢中央公園ならではの公園利用と発信
適切な管理の確保	○基本的考え方：PDCA マネジメントサイクルに則った、適切・効果的管理 ○安全性の確保・自然樹形管理・常駐スタッフによる毎日管理 ○ゴミの持ち帰りの周知・毎日清掃 ○専門業者による設備点検保守 ○公園施設の日常点検・定期点検、長寿命化計画のための点検結果のデータベース入力 ○関係法令の遵守
効用の発揮、県民サービスの向上 〈その1〉	■公園利用促進 ○利用促進のための広報・PR活動 ・オリジナルホームページ・SNSによる情報発信、パンフレットのリニューアル、チラシの配布、教育機関と連携した広報 ・ウォーキングコースの刷新、レンタサイクルの導入 ○スポーツ施設・芝生広場の利用促進 ・運動施設の無料開放デーの構築、使いやすい予約システムの構築 ・芝生広場、遊具周りへの緑陰導入 ○森林整備と利活用の促進 ・冬・夏2回伐採による放置竹林駆除、沢の森の適切なゾーニングと管理 ・ナラ枯れ被害の発生監視と、ナラ枯れに罹病しない樹種への転換 ○ポストコロナを見据えた公園管理の実践 ・安全安心に利用できる公園のPRと公園利用のアイデアの提供 ・セルフガイドツアーによる活動のPRと推進 ■利用者対応 ○案内の徹底と情報発信の強化 ・パークセンター機能の強化、わかりやすい案内の工夫、ホームページ等のWEB情報の有効活用 ○法令に基づく、誠実で平等な対応の実践、適正利用のルール・マナー指導
効用の発揮、県民サービスの向上 〈その2〉	■地域住民、教育機関、NPO等との連携 ○市民グループとの連携の積極的推進とイベントの充実 ○苗木の植樹会をはじめとする各種ワークショップの運営 ○地元企業として豊富な人脈の活用、地域密着の連携協働 ○地元在住者の優先的雇用、スタッフの継続雇用 ○地域との防災体制の共有、協力体制の確立、公園施設における防災備蓄

